

# 羽曳が丘憲法九条の会第2回のつどい

平和だから楽しめる



第一部の幕開けはうたごえ、広島の中  
学生がつくった歌が今では世界中で歌わ  
れるようになって「ねがい」を参加  
者みんなで練習しました。

5丁目の岸下さ  
ん、花水木会の会  
長さんです。尺八  
のお師匠さんで、  
手品も得意。近く  
の小学校や老人ホ  
ームにもボランテ  
ィアでご活躍。尺八の音色に日本の秋を感じ、  
鮮やかな手品を皆楽しみました。



7丁目の森下さん、趣味のバイ  
オリンでジョン・レノンの「ハッ  
ピー・クリスマス」や「星にねが  
いを」などを披露。参加者は皆、  
うっとり聞き入りました。



「九条を守ろう」の誓い新たに

九月三日(日)午後MOMOプラザで、羽曳が丘  
憲法九条の会第2回のつどいが開かれました。地  
域の方が出演された文化の部と「核問題と憲法」  
と題する講演と内容豊かなつどいになりました。

羽曳が丘  
**憲法九条の会**  
ニュース  
第2号  
06年9月 発行  
連絡先 林(丘2丁目)  
☎956-0596

## 「九条の会」ってなに？

九条の会アピールは2004年6月、井上ひさしさんや大江健  
三郎さん、三木睦子(元総理大臣夫人)さんなど9人の方が、戦  
争だけは絶対繰り返してはならないという思いから、今の憲法  
を世界に輝かせようと呼びかけられたものです。その後、各界  
各層、全国各地からアピールへの賛同の意思表示が相次いでい  
ます。大阪でも皆さんよくご存知の藤本義一さんや桂米朝さ  
ん、新野新さん、森南海子さん、大谷昭宏さんら多くの著名な  
方が賛同されています。このことから分かるように、この会  
は、特定の考えや政党に偏ったものではありません。ただ、日  
本が憲法を作り変え、再び戦争をできる国にしないことを目指  
しているのです。

今回のつどいで署名を取り組むことに踏み出しました。ぜ  
ひ、ご協力ください。

再び若者が戦場にかり出されないように

呼びかけ人を代表して開会のあ  
いさつに立った松崎さんは自らの  
体験を元に次のように訴えられま  
した。

「戦争が終わった年は私が一五、  
六の時でした。戦争の惨禍を身体を  
もって知っています。父親は原爆に  
あい、私は爆弾でケガをしました。  
世界に誇る日本の憲法を絶対に守  
らなければなりません。自民党総裁  
選挙では憲法改正を叫んでいる人  
もいますが、日本の憲法を変え軍備  
を強化して、かつて歩いたあの道を  
再び歩き出すのではないかと、危惧  
します。徴兵もおこりかねません。  
小さい子どもさんや青少年たちが  
また海外に派遣されるようなこと  
になったら、かつての戦争のように  
何百万もの無辜(むご)の人たちがな  
くなるのです。これからの戦争は原  
子爆弾が使われ、終末戦争になると  
もいわれています。そんな道を絶対  
に歩んではなりません。」

# 原子力発電で原子爆弾が！ 九条を変えれば日本でも4万5千発もつくれる

3丁目の西田さんに、科学者の立場から「核問題と憲法」という題で話をさせていただきました。



## 原子爆弾の威力

原子爆弾が世界で初めて作られたのは第二次世界大戦の末でした。原子爆弾が作られたことでそれまでの戦争のやり方や社会のあり方が大きく変わりました。

それまでの通常兵器として使われる TNT(火薬)爆弾は最高で1トン爆弾でした。それが広島に投下された原子爆弾1つで TNT爆弾2万発分の威力があるのです。

## 原子爆弾には2種類ある

一つはウランニウム爆弾(天然のウラン鉱石から取り出したウランニウムを原料として使ったもの)で、広島に投下された爆弾です。もう一つはプルトニウム爆弾(原子力発電などでウランニウムを使った時に出来る人工の原子プルトニウムを原料として使ったもの)で、長崎に投下された爆弾です。

## 原子爆弾はどつやどつやって作るか

ウランニウムやプルトニウムという原子は中性子(ニュートロンという)がぶつかると次々と核分裂し、ねずみ算方式で増えていきます。ウランニウムの場合は10kgあれば爆発を引き起こします。プルトニウムの場合は6kgです。この爆発に必要な量を臨界質量といいます。臨界質量のウランニウムやプルトニウムを2つに分けておいて、爆発させる瞬間に火薬などで一つにして、一気に核分裂を引き起こさせるのです。そのときに猛烈なエネルギーが生まれるのです。

## 大きさはソフトボールかピンポン玉

原子爆弾の大きさはどれぐらいかといいますが、ウランニウム爆弾でちょうどソフトボールぐらい、プルトニウム爆弾だとピンポン玉ぐらいの大きさです。質量が大きいので少量でも重たいのです。金よりも重いですよ。

## プルトニウムはどつやどつやって作る

ウラン鉱石からウランニウムを取り出します。イエローケーキといいますが、それを濃縮して原子力発電所で使う原料にするのです。原子力発電所はだいたい原子炉一基で100万kW発電します。現在日本には50〜60基の原子炉があります。ウランニウムを原子力発電で使うと原子炉一基から年間270kgぐらいのプルトニウムが出来ます。

プルトニウム爆弾一つ作るのに6kgですから、その気にさえなればいくらでも作れるのです。現在までの原子力発電にともなうプルトニウムだけでも最低に見積もっても4万5千発は作れるでしょう。

## これからの戦争は核戦争につながる

原子力発電をやっている国ならどこでも作ることができるんです。核拡散防止は有名無実化しています。すでに核兵器は広がりつつあります。このような時期に、「どこかが攻めてくるかもしれない」から軍隊をつくりたい」といっているのは、まったく現在の状況が分かっていないのです。これからの戦争はまかり間違えば核戦争になってしまふのです。だから、戦争ではなく平和でなければならぬのです。

〔このあと、質問に入りました〕  
**今、原子炉から出る廃棄物はどつやどつやしていますか？**  
青森県六ヶ所村で、遠心分離機にかけて、死の灰は人間の背丈ほどのガラス容器に入れ密封して地中深くに埋めています。残りはドラム缶に入れて並べてあるんです。

**劣化ウラン弾って？**  
濃縮されていないウランニウムで作っている爆弾ですが、核分裂がないわけではないんです。だから使われたところでは放射能汚染による病気も出ています。

## プルトニウムは平和利用できかないのですか？

まったくできません。プルトニウムは超毒性でステンレスでもすぐぼろぼろになってしまいます。高速増殖炉で再利用しようと試みましたが(もんじゅ・じょうよう)が失敗してしまいました。今稼動している原子炉でも一次冷却水は1000℃、二次冷却水で800℃もあり(その蒸気で発電しているのですが)、配水管が破れたりよく故障しています。ただできるのは爆弾を作ることだけです。(会場から失笑)

